

## 印西地区環境整備事業組合

技術班 御中

検討委員 津島 孝彦

第4回基本計画検討委員会検討事項についての質問と提案

## 資料3 計画策定～ごみ排出量及び処理・処分量の目標について

- ①P62の表5.16について、印西市の第2次ごみ減量計画のH32年度目標値(家庭系集団回収・資源ごみ等を除く)欄に数値が記載されていません。この最も重要な数値 377g/人・日が抜けた理由は何ですか。
- ②このような重要な数値が記載されず無視されたとしか思えない形で、構成市町の統一目標値を470g/人・日(H32)とするこの案には反対です。私には、この数値は単なる数字合わせと思えて、関係市町との整合性を図った数値とは思えません。この数値の策定経過と理由を聞きたい。
- ③印西市の値(377g/人・日)でなく、事務局案の統一目標値を使った場合
- ごみ量：年間3,500T (470-377g/人日×印西市人口×365日)
  - 施設規模：14.5T/日 (3,500T÷280÷0.96÷0.9)
  - 設備費：約7億円 (14.5T/日×5千万円/Tと仮定)
- が増加します。
- 構成市町の現在の財政状況を考えると、とてもこのようなゆるい統一目標値の設定は許されない状況と考えます。事務局の見解を聞きたい。
- ④私は、第1回の会議で目標値の設定は構成市町との整合性をはかるべきと話し、議事録にも残っています。吉本副委員長も第3回会議で「それはその通りと」おっしゃっています。(議事録)
- 又、先日の組合臨時議会答弁で、大須賀工場長の基本計画は関係市町との整合性をはかりながら策定されるものとの主旨の発言も聞きました。にもかかわらず構成市町との整合性をはかったとはとても思えない今回の事務局素案には全く同意できません。今後の素案作成時には私共の意見を前向きに検討するようお願いします。
- 以上のことから、構成市町の値と整合した家庭系ごみの統一目標値(集団回収・資源物を除く)として、構成市町の人口比で加重平均した数値 416g/人・日 を用いるよう提案いたします。

以 上